

令和8年度米子市スポーツ推進審議会 発言要旨（委員からの質疑応答）

【スポーツ推進計画に掲げる施策の令和7年度事業実施状況について】

《学校体育施設開放事業について》

- ・（安田委員）利用実績について、各学校ごとの利用状況を教えてほしい。
→（事務局）提供できる資料を別途提供したい。

《米子アリーナについて》

- ・（田中委員）竣工予定が令和9年6月となっているが、変更はないか。
→（事務局）現状、令和9年6月末頃に竣工、供用開始を9月頃としている。工事の進捗率も概ね計画どおりに進んでいるが、懸念材料として、中東情勢の関係から各資材の納入遅れ等があることは事業者から聞いている。

【米子市スポーツ推進計画の改定について】

《基本方針について》

- ・（杉村委員）スポーツ庁の第4期基本計画の考え方等を踏まえ、市民のスポーツ実施促進を直結させる表現を基本施策の中に記載することを検討いただきたい。
→（事務局）環境整備に努めれば、施設利用者も増える。一人でも多くの方に体を動かす機会を持ていただきたいということで計画を作成しているため、このような主旨も踏まえつつ、考えていきたい。

《個別数値目標について》

- ・（秋田委員）コロナ後、多くの公民館で運動会が1日開催から半日開催に縮小・定着している。若い世代の忙しさや選手集めの難しさ、自治会役員の高齢化など厳しい課題がある。現状の小規模化・半日化を受け入れつつ、地域交流を絶やさない努力を継続している。
→（事務局）市民体育祭については、公民館単位で取り組んでいただいているが、中学校区でのチーム編成など参加要件の緩和等をしており、どうすれば参加者を増やすことができるかという視点で必要に応じて見直しを行い、様々な視点で目標達成を目指していきたい。

《学校グラウンド等の施設環境について》

- ・（大森委員）雨天後に中学校グラウンドの水はけが悪く、整備に苦勞して使用できない状況が2年続いている。施設整備・環境改善をお願いしたい。
→（こども施設課）水はけの問題がある学校については把握しており、順次状況に応じて対応したい。

《地区の運動会について》

- ・（安田委員）7年ぶりに運動会を再開する地区がある。暑さ対策として室内競技へ切り替える工夫や、若い役員の活躍、準備の苦勞などがある。
- ・（事務局）スポーツを通じた地域振興や活性化についても視点として持ちながら、計画を策定していきたい。

《幼少期の運動プログラム（ACP）の導入・定着》

- ・（杉村委員）親子体力づくり大会のような年1回のイベントだけでなく、日本スポーツ協会のアクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）のような遊びを通じた運動プログラムを日常的に普

及させてはどうか。

《ユニバーサルスポーツ・e スポーツ等の掲載》

- ・(杉村委員) 高齢者 e スポーツなど、多様な人が親しめる種目の記述を計画で触れることの検討をしてほしい。

《米子アリーナ完成後の観戦機会（ツーリズム）と大規模大会誘致》

- ・(杉村委員) 新アリーナ完成を見据え、B リーグ等や全国規模大会、国際大会の誘致・興行促進を観戦機会の提供として計画へ記載を検討してほしい。また、鳥取県や米子コンベンションビュロー等との連携、予算措置も含めた積極的な誘致体制の検討をしてほしい。

《施設再編・地区体育館の扱い》

- ・(杉村委員) スポーツ施設等の充実について、現状、課題、施策目標の整合性がわかりにくいため、記載内容の整理をしてほしい。
→(事務局) 地区体育館（全 11 館）の再編に伴い、地域拠点体育館への集約を検討している。一方で、日常の運動機会確保のため、空調設置を順次進めている小中学校体育館を授業に支障がない範囲内で最大限活用する方針。計画内容については、表現を精査したい。

《アンケート結果（米子市のスポーツ資源について）》

- ・(杉村委員) 三の丸の整備をしている関係から、城山（湊山公園等）のランニング/トリムコース標識の復活・環境整備をしてはどうか。

《アンケート結果（市営スポーツ施設や都市公園、身近な学校体育施設の利用頻度について）》

- ・(杉村委員) アンケートで「全く利用しない」層が多い点について、どのように考えているか。
→(事務局) 一部の競技をされている方の利用が多いと思われる。また、ジムや自宅等の周辺を歩いている方もおられると思われる。周知を行い、使っていただきたいと思っている。

《アンケート結果（競技人国の拡大や競技力の向上を図るために必要なこと）》

- ・(杉村委員) 鳥取大学医学部のスポーツ医学センターなど地域資源の周知を検討してほしい。

《アンケート結果（米子市のスポーツイベントや施設に関する情報をどこから得ているか）》

- ・(杉村委員) デジタルの活用、SNS の活用を上手く使っていく方策も考えてほしい。

《計画の取り組みについて》

- ・(杉村委員) 鳥取県のように毎年アクションプランを作成し、PDCA サイクルを回す実効性のある仕組みの検討をしてほしい。

《中学生の部活動・スポーツ環境の課題》

- ・(田中委員) 中学生の部活動において、希望する種目が学校にない場合や人数の偏りがある。ダンスなど多様な種目の受け皿や、やりたいスポーツが継続できる環境づくりが必要ではないか。
→(事務局) 少子化の中で単独校での部活動維持が困難な現状がある。地域展開や機会確保に向けて教育委員会等の担当部署と情報共有等を行う。

《産業体育館閉館に伴う備品（レクリエーション道具）の扱いについて》

- ・(安田委員) 産業体育館が閉鎖・米子アリーナへ移転する際、これまで無料貸出されていたレクリエーション道具の管理・移管はどうなるのか。有料化や貸出停止になると利用団体が困る。
→(事務局) 備品登録されているものについては、基本的には米子アリーナに移す方針であるが、県から市への移管等について、細かな物品の扱いも含めて確認をする。

【その他】

《スポーツ協会への予算増額・組織化（法人化）の検討》

- ・(杉村委員) 近隣他市と比較して米子市スポーツ協会の予算・奨励金が少ない。出雲市のようにスポーツ協会を法人化し、一元的に事業・施設管理・情報発信を担う仕組みを研究・検討してほしい。
→(事務局) 奨励金については、今年度増額をしている。先進事例についても情報収集を行っており、引き続き行っていきたい。

《クラブチーム所属の中学生への大会出場支援・平等性》

- ・(杉村委員) 部活動ではなくクラブチームに所属して全国大会等で活躍する中学生への支援について、対象範囲の拡大やわかりやすい周知、子どもたちへの平等な支援を検討してほしい。
→(事務局) 担当部署に意見として伝える。